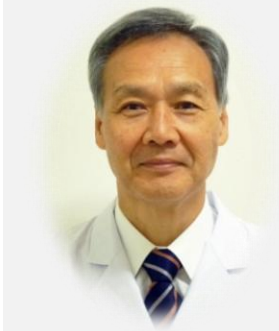


特集 | 城南歯科3周年記念号



理事長

山本悦秀

本号は当・城南歯科医院開院3周年記念とのことで、原稿依頼を受けた。3年というのは、私の趣味の市民マラソンに例えれば「まだ走り始め」の段階で、その日の体調を押し量っているという状態である。実際に、私が大学教授時代に最初のささやかな祝いをしたのは就任5周年であった。だが一方で、3年というのはこの先の5年、10年の当院の姿をかなり正確に予測できる期間であったことの意義は大きいと思う。

この11月6～9日にわたりテレビ番組の取材を受けた。BS11局の23日・日曜日午後6時からのONZEという報道番組で放映される予定である。この取材は我々夫婦のこれまでの生き方を振り返る好機会となったが、それで思い出したのが、44年前の結婚後の挨拶状である。そこには「…今後私共人間として懸命に努力する決意でございます。それが多少なりとも社会に貢献できますれば幸いと思っておりますが…」と書いてある。今読み返してみても、正に一生懸命の半生だったように思う。今後も患者さんの気持ちに寄り添って、高度で優しい医療を提供していきたいと思っている。



目黒区洗足の地にもどり、歯科医院を開業してから早3年がたちました。

お陰様で優秀なスタッフと多くの患者様に恵まれ、充実した毎日を楽しませて頂いています。以前の金沢での開業を加えると14年の間、自分ながら一生懸命走り続けてきたと思います。

当初より「患者様の健康と美しさと幸せを第一に考え、そのための技術・知識向上に努めます。お話をよく聞き、正しい診断と、納得のいく説明・治療をします…」と理念を掲げて、スタッフとその思いを共有してきました。ありがたいことに、私共の歯科に対する姿勢を高く評価して下さる患者様が年々増加し、今では「城南ファミリー」ともいえるべき親しいコミュニティーができ、診療室や受付は笑顔があふれる状態となりました。そのために、患者様も私達も共にリラックスして、最高の仕事ができる環境が整いました。時には診療中に眠られる方も多くなっています。

「歯科医師の仕事は天職」と思っている私にとりまして、診療時間は至福の時です。健康や家族とのバランスをとりながら、これから益々よい診療ができるように努力してまいります。

すべての皆様に心より感謝申し上げます。



院長

山本美智子

アマルガム修復

アマルガム修復(しゅうふく)とは歯の修復材料にアマルガムを使用する治療のことです。銅の殺菌性などにより活用されてきましたが、近年日本では、水銀の害の問題が大きいと、あまり使用されていません。安価であることから、使用している国は多かったのですが現在では国際的に歯科用アマルガム使用制限に向け、法規制への動きが強まっています。

アマルガムは銀、スズ、銅、亜鉛、水銀などが含まれる合金です。この中でも水銀が高濃度に含まれています。また水銀は毒物及び劇物取締法において毒物に分類され、常温で蒸発します。これがお口の中にあると、水銀の粒子や蒸気が口の中に流出し、自覚のないままに体内に吸収され、腎臓、肝臓、脳などに蓄積される可能性があります。

現在もなお、口腔内にアマルガム修復歯があるようでしたら、早めの受診をお勧めします。

【参考：アマルガムはどのような悪影響をおよぼすのか??】

アマルガム治療を受けた患者約 1,600 名が訴える主な症状を集計したデータです。アメリカ食品医薬品局 (AFD)、スウェーデン、デンマーク、カナダの異なる患者グループについての研究をまとめたものです。

順位	症状	順位	症状
1	疲労	6	皮膚炎
2	頭痛	7	注意散漫
3	視覚障害	8	物忘れ
4	ふさぎこみ	9	舌のざらつき
5	めまい	10	胃腸障害

アマルガム修復された歯



症例写真

アマルガムをはじめ、金属が口腔内に入っていると、金属アレルギーの心配や、審美性の問題があるため、最近は金属を使わない治療を希望される方が増えています。材料により、保険内のできるもの、保険外(自費)のものがあります。ここではいくつかの症例をご紹介します。

【アマルガムを CR へ】



CR(コンポジットレジン)で
充填。
(保険診療)

【金属をハイブリッドセラミックへ】



ハイブリッドセラミックでの
詰め物。
(自費診療)

【金属を白い詰め物へ】



口腔内の金属を
すべて金属を使わない
タイプの詰め物に変更。
(保険・自費診療)

【番組のお知らせ】

先日、理事長が取材を受けた番組(BS11)の放送日が決まりました。

11/23(日) 夕方6:00~6:55

BS11

ウイークリーニュース ONZE

『人・ヒューマン』のコーナーにて
放映予定です。

よろしければ、是非ご覧ください。

